

# 女性活躍推進ガイド

AKITA CITY WOMAN LIFE&WORK

## 自分らしい 生き方、働き方を 探して

### Akita Woman Interview

秋田中央交通株式会社 橋本 里香 さん  
株式会社NTT東日本-東北 柴田 夏帆 さん

**PICK UP** 世界で活躍するデザイナーが  
県産ダリアの打ち掛けを制作  
アンテプリマ クリエイティブ・ディレクター  
荻野 いつみ さん

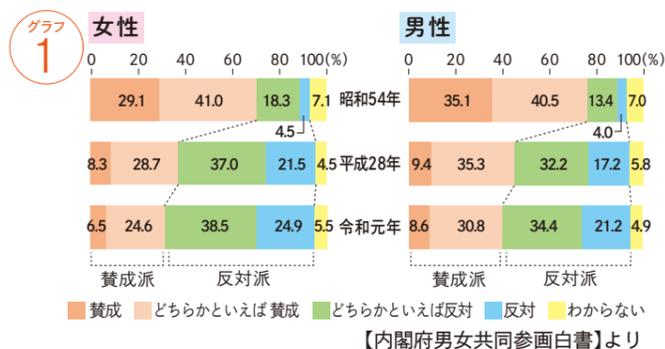
- 意識の変化、感じていますか。
- 秋田市は男女共生社会をめざしています
- 秋田市 女性活躍推進のとりのくみ

「日本女性会議2016秋田」を開催するにあたり、新しい秋田の女性からの情報発信として「NAMAHAGEダリア」をモチーフとしました。これを機会に、男女共生、女性活躍の推進をイメージするものとして活用しています。

撮影協力：秋田国際ダリア園

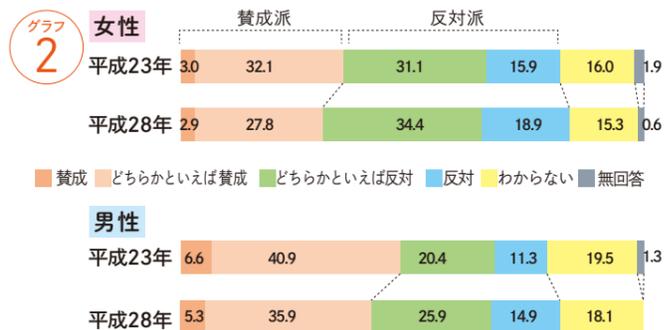
### 意識の変化、感じていますか。

「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は、性別と役割を結びつける考え方であり、男女平等の法律などの整備が進む一方で未だに残る意識です。男女が共に働き、柔軟な考えが必要となっても、その意識のため、生きづらさを感じている人も少なからずいます。下のグラフ1は、このことについて国が実施した意識調査結果の経年変化です。



秋田市での同様の調査結果は、以下のグラフ2です。

本市でも国と同様の傾向がみられますが、「わからない」と回答した人の割合が多いことが特徴です。



同調査のグラフ3によると、共働きの夫婦で、男女とも同じように家事、育児、介護などをするのがよい37.7%(A)、または手の空いているほうがやるのがよい44.9%(B)と考えている人は多く、全体の8割を超えています。

でも、実際の行動(グラフ4)では、家事などを男女同じように分担している12.5%(C)、手の空いているほうがしている24.9%(D)夫婦は37.4%にとどまっており、主に女性がしている夫婦は51.9%(E)と意識と実態に大きなひらきがみられます。



【秋田市 男女共生に関する市民生活調査】より

このことは、固定的な意識のほかに、それぞれの働き方や周囲の理解など、実行したくてもできない様々な要因もあると考えられ、自分らしく行動するには働き方や生活の環境づくりはとても重要であることがわかります。

### 秋田市は男女共生社会をめざしています



「男女共生社会」とは、性別だけでなく、年齢、職業、身体状況、国籍などにかかわらず、誰もが互いの人権を認めあい、一人ひとりの個性や能力を十分に発揮することができる社会です。

「男女共生講座」では、男女共生や女性活躍の視点を取り入れた様々なテーマの講座を開催しています。また、「男女共生出張講座」では、町内会やPTAの学習会、職場の研修会等に講師を派遣し、テーマを通じて男女共生を啓発しています。



男性の家事参加講座の様子

#### 出張講座 テーマ

- 結果を出すチームづくり
- ハラスメントのない組織づくり
- 怒りと上手につきあって人間関係を良好に
- 自分も相手も大切にコミュニケーション

情報紙「男女共生ネットワークニュース」は年2回の配信です。ホームページからも閲覧が可能です。

全国的に政策決定過程の場で男女比に偏りがある状況が続くため、秋田市では各種審議会等に女性を登用できるよう、委員候補者の起用を目的とした「女性人材リスト」を作成しています。どうぞご協力ください。

### 秋田市 女性活躍推進のとりのくみ

誰もが「なりたい自分」をめざし、個性と能力を發揮できるように願っており、社会は一人ひとりの多様性を受け入れることで活力を得て発展していきます。

一人ひとりが能力を發揮できる環境づくりを一層推進するため、「女性も男性も活躍推進!シンポジウム」を開催。講演会や身近なロールモデルの紹介などを行っています。



自分らしく仕事を続けられるよう、リーダーと中堅コースに分けた「キャリアデザインセミナー」を開催。個人の相談については、キャリアデザインカフェの相談会をご活用ください。「キャリアデザインカフェ」は、育児休業中や育児中で再就職をめざす女性を対象に、相談会とセミナーを組み合わせ開催しています。

オフの時間で仕事や日常生活に役立つ知識と自らを見つめなおす「よる活」で、ヨコのつながりを得る場を提供します。



担当 秋田市 生活総務課 女性活躍推進担当  
TEL.018-888-5650 FAX.018-888-5651  
Email ro-ctmn@city.akita.akita.jp



HPIはこちら

### PICK UP

## 世界で活躍する デザイナーが 県産ダリアの 打ち掛けを制作



### 打ち掛けでダリアの認知度向上

イタリアや香港を中心に世界を駆け巡り、クリエイティブ・ディレクターとして活躍する「アンテプリマ」の荻野いつみさんは、現在ミラノコレクションに公式参加する日本人女性です。その荻野さんが2017年、秋田県産「NAMAHAGEダリア」をモチーフにデザインした打ち掛け2種を発表し、話題を集めました。そのきっかけは、秋田市産業企画課がNAMAHAGEダリアの認知度向上を目指し、秋田銀行と交友のある荻野さんに依頼し、実現しました。

### お祝いの席にダリアの美しさを

NAMAHAGEダリアについて、「艶やかで洋花なのに日本的。気品があり、凛としていて、強くポジティブな印象を受けた」という荻野さん。ダリアの花言葉である「華麗」「感謝」「優美」の通り、全てがお祝いの席に適していると感じ、打ち掛けの制作を決めたそう。この打ち掛けには、ダリアの優雅で色鮮やかな洋風の魅力と、和風にマッチする優美さが取り入れられています。「多くの花嫁に着ていただき、人生の節目を祝ってもらえたら」という荻野さんの思いが込められたダリアの打ち掛けは、アンテプリマの中でも人気の着物となっています。



ち掛けには、ダリアの優雅で色鮮やかな洋風の魅力と、和風にマッチする優美さが取り入れられています。「多くの花嫁に着ていただき、人生の節目を祝ってもらえたら」という荻野さんの思いが込められたダリアの打ち掛けは、アンテプリマの中でも人気の着物となっています。

### 秋田の女性へメッセージ



アンテプリマ  
クリエイティブ・ディレクター  
荻野 いつみ さん

グローバルに世界を行き来することが、難しい世の中になってしまいました。私自身も地球に怒られている気がしていますが、今後もグローバルなマインドを大切に、職業・年齢・人種・性別に関わらず多様性を受け入れ、ダリアのようにポジティブに生きていきたいと願っています。皆さまもグローバルな視点で問題を見極め、前向きな人生を謳歌して下さい。

【アンテプリマ】 <https://jp.anteprema.com>